

NST研究会報告

8月6日 第6回岐阜南NST研究会を開催致しました。

『栄養療法の実際—正しい静脈栄養について—』
山中温泉医療センター
センター長 大村健二先生



参加者は院外7施設を含め、78名と多数
集まり熱気のある研究会となりました。



静脈栄養の基本から、症例を交えた
内容まで、盛りだくさんの熱意あふれる
講演でした。
こんな時はどうしたら？と質問が次々と・・・

静脈栄養は極めて非生理的なものであるため、至適範囲が狭く、個々に合わせた栄養量の算出が必要。
高カロリー輸液用基本液を使用する場合は、グルコースの過剰投与とアミノ酸の不足に注意する。
必要量が投与された時点で残りは廃棄し、全量使いきることにこだわらないこと。
侵襲が加わった症例では高カロリー輸液用基本液にアミノ酸製剤の添加が必要となる場合が多い。



NSTスタッフ一同、
より良い栄養管理のサポートが
できるよう努力を続けます！

お知らせ

第5回院内NST勉強会〔経腸栄養の合併症と対策〕
10月6日(水)17:00～18:00 3階講堂